

## セグメント情報等

### ●セグメント情報

#### 1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当行グループは、銀行業を中心とした金融サービスに係る事業を行っております。なお、グループ各社が営む銀行業以外の事業については、重要性が乏しいことから、銀行業のみを報告セグメントとしております。

銀行業は、預金業務、貸出業務、商品有価証券売買業務、有価証券投資業務、国内為替業務、外国為替業務、信託業務等を行っております。

#### 2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

#### 3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント 銀行業	その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
経常収益					
外部顧客に対する 経常収益	97,194	10,962	108,156	-	108,156
セグメント間の 内部経常収益	892	1,409	2,302	△2,302	-
計	98,086	12,371	110,458	△2,302	108,156
セグメント利益	20,625	3,152	23,777	△12	23,765
セグメント資産	12,256,073	67,054	12,323,128	△49,220	12,273,908
セグメント負債	11,106,280	36,341	11,142,621	△36,866	11,105,754
その他の項目					
減価償却費	3,281	111	3,393	-	3,393
資金運用収益	76,810	119	76,929	△61	76,867
資金調達費用	4,345	50	4,396	△48	4,347
持分法投資利益	-	22	22	-	22
持分法適用会社への投資額	-	108	108	-	108
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,258	74	3,333	-	3,333

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、信用保証業、リース業、クレジットカード業、証券業等を含んでおります。

3. 調整額は、次のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△12百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (2) セグメント資産の調整額△49,220百万円は、セグメント間取引消去等であります。
- (3) セグメント負債の調整額△36,866百万円には、セグメント間取引消去△39,128百万円及び退職給付に係る負債の調整額2,261百万円が含まれております。
- (4) 資金運用収益の調整額△61百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (5) 資金調達費用の調整額△48百万円は、セグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント 銀行業	その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
経常収益					
外部顧客に対する 経常収益	116,220	11,201	127,422	-	127,422
セグメント間の 内部経常収益	819	1,351	2,170	△2,170	-
計	117,039	12,553	129,592	△2,170	127,422
セグメント利益	26,084	3,105	29,189	△13	29,176
セグメント資産	12,196,727	64,998	12,261,726	△50,758	12,210,967
セグメント負債	11,126,767	32,374	11,159,142	△38,491	11,120,650
その他の項目					
減価償却費	3,157	109	3,267	-	3,267
資金運用収益	81,804	120	81,925	△52	81,873
資金調達費用	2,821	41	2,863	△38	2,824
持分法投資利益	-	17	17	-	17
持分法適用会社への投資額	-	125	125	-	125
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	4,924	17	4,942	-	4,942

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、信用保証業、リース業、クレジットカード業、証券業等を含んでおります。

3. 調整額は、次のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△13百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (2) セグメント資産の調整額△50,758百万円は、セグメント間取引消去等であります。
- (3) セグメント負債の調整額△38,491百万円には、セグメント間取引消去△40,683百万円及び退職給付に係る負債の調整額2,191百万円が含まれております。
- (4) 資金運用収益の調整額△52百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (5) 資金調達費用の調整額△38百万円は、セグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

### ●関連情報

前連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

#### 1. サービスごとの情報

(単位：百万円)

	貸出業務	有価証券投資業務	その他	合計
外部顧客に対する 経常収益	45,959	35,117	27,079	108,156

(注) 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

#### 2. 地域ごとの情報

##### (1) 経常収益

当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

##### (2) 有形固定資産

当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

#### 3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

#### 1. サービスごとの情報

(単位：百万円)

	貸出業務	有価証券投資業務	その他	合計
外部顧客に対する 経常収益	45,637	50,619	31,164	127,422

(注) 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

#### 2. 地域ごとの情報

##### (1) 経常収益

当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

##### (2) 有形固定資産

当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

#### 3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

### ●報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

記載すべき重要なものはありません。

### ●報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

### ●報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

### ●関連当事者情報

記載すべき重要なものはありません。